



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



Weekly Reports 2018-2019

2018-19年度RI会長: パリー・ラシン / 地区ガバナー: 次野 宗司
加古川ロータリークラブ会長: 岡田 義則 / 幹事: 水川 典明
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

平成30年8月28日(火) 曇り No. 8



▲会長挨拶



▲山口会員増強委員長
委員会報告



▲高浜会員の卓話

会長挨拶

会長 岡田 義則

皆さんこんにちは、8月ももう今週で終わります。今日が終わるとロータリーの例会の六分の一が終わるわけです。早いと思えば早いし、まだ始まったばかりと思えばまだまだですが、とにかくどんどん早く感じてしまうのはやっぱり年のせいでしょうか。

ところで今日の会長の時間は笑えるお話をしたいと思います。学生時代からコンサートで歌を聞かせるほどうまくなかったので、その中での会話で楽しんで貰おうと笑えるネタをよく探したものです。

笑うということが非常に体に良いということは近年その研究も進み科学的に分析されてきました。笑うということが免疫力を高める。リンパ球を中心にしたナチュラルキラー細胞・T細胞・B細胞・大食細胞・など数種種類の細胞が綿密に連携し合ってウィルスや細菌と戦っています。大いに笑い楽しく過ごすことが健康維持に非常に大切ということは分かっているにもかかわらず寄席を見に行ったり、吉本などに行ったりできません。メンバーの皆さんは特に多くのストレスと戦いながら過ごされていると思います。大いに笑って過ごして頂きたいものです。例会に来られてメンバーと楽しく過ごして頂くのもその一つと思います。

少し笑えるネタを少し紹介いたします。

小話その1

新しく社会人になる息子に、通帳とキャッシュカードを作らせ、さらに口座に子供のころから貯めてあげていたお金も入金しておきました。4月から社会人になり8月頃に不安そうな、また恐怖におびえた顔をして「毎月、としこってという知らない人からお金が振り込まれるんだけど、ちょっと怖い」と言ってお母さんに通帳を見せました。するとお母さんは呆れたかあをして「これは利子(利子)」って読むんだよ。

小話その2

若く美しい妻が主人に言った。「体中、あちこち押すと痛いのです。」
それを聞いた主人は言った「ちょっと膝を押してみて」(妻)「こうですか、・・・痛

い！」

(主人)「今度はおでこを押してみてください」(妻)「こうですか・・・やっぱり痛いです」

(主人)「次はおなかを押してみてください」(妻)「ハイ、痛たたた」主人はすぐに納得して「これは間違いなく指の骨折だね。」

これで会長の時間を終わります。今日は高浜会員の卓話ですよろしくお願いいたします。

幹事報告

- 1) 地区より平成30年7月豪雨被害支援へのご協力のお礼がきております。クラブより一人1000円の寄付をし、地区全体で2,755,395円の寄付が集まった事をご報告させていただきます。
- 2) BOXに『END POLIO NOW』キャンペーン開催の御案内と、MY ROTARY登録に際しての注意点をに入れております。『END POLIO NOW』キャンペーンは3クラブ合同事業となっており、今年度は加古川RCが当番クラブです。皆様ご協力よろしくお願いいたします。また、MY ROTARY登録につきましては、事務局にマニュアルもございます。登録に引き続き御協力をお願いいたします。
- 3) 3クラブ合同例会親睦ゴルフ、ご参加頂ける方、よろしくお願い致します。

ニコニコ



- | | | | |
|---|---|---|--|
| 省 | 略 | ☺ | 山口会員増強委員長、先週のアンケートのまとめの発表ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 高浜プログラム委員長、本日の卓話よろしくお願い致します。 |
| 省 | 略 | ☺ | 高浜会員、本日の卓話よろしくお願い致します。 |
| 省 | 略 | ☺ | 会員増強に関するアンケートご協力ありがとうございます。本日結果を報告させていただきます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 高浜さん加古川のPR動画の紹介ありがとうございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 高浜君昨日も遅くまで有難うございます。卓話楽しみにしております。 |
| 省 | 略 | ☺ | がんばれ俺！本日卓話させていただきます。皆様暖かい目で見守ってください。 |
| 省 | 略 | ☺ | 写真ありがとうございます。高浜さん、PR動画楽しみです。 |
| 省 | 略 | ☺ | 高浜会員卓話がんばって下さい。 |
| 省 | 略 | ☺ | 台風はもう要らん 怒！怒！怒！ |
| 省 | 略 | ☺ | 保地会員先日はありがとうございました。大辻会員、高田会員、畑会員、船原会員ご一緒いただきありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 保地先生、先日はありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 保地先生、先日はありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 保地先生、先達っては大変お世話になりました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 写真ありがとうございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 写真ありがとうございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 写真ありがとうございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | テーブルの花いただきます。 |

以上18件 ¥25,000-
本年度累計¥365,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 78 名 出席 49 名 出席免除 13 名 欠席 16 名 75.38%
- ☆ 欠 席 者 省略

- ☆ 前 々 週 会員数 78 名 出席 57 名 出席免除 13 名 欠席 8 名 87.69 %

親睦活動委員会

- 例会場当番
- 9月 4日(火) 田畑、岡井
- 9月11日(火) 竹本、大庫典



プログラム委員会

本日8月28日(火)	9月4日(火)	9月11日(火)	9月18日(火)
卓話 「加古川 PR 動画 紹介」 高浜担当	フォーラム ゲスト卓話 「ロータリー-の友について」 ロータリー-の友委員会 2680 地区 地区代表委員 松尾 邦光氏 雑誌委員会担当	尚齒例会 親睦活動 委員会担当	フォーラム ゲスト卓話 「地区青少年プログラム について」 2680 地区 青少年奉仕 委員会 副委員長 中本 広太郎氏

9月のおよろこび

- ◆ 誕生日 祝 省略
- ◆ 結婚記念日 祝
- ◆ 出席表彰
- ◆ 会社創立記念日

笑顔の理由

ロータリアンは、人びとの笑顔を取り戻すために、多くの手術を実施してきました

2012年、リカルド・ロマンさんがデパートで買い物をしていたとき、20代前半らしき女性が近づいてきました。「見覚えはない」とロマンさんは感じたそうですが、それもそのはず。その女性と以前に会ったのは10年以上も前。そして何よりも、彼女の笑顔に劇的な変化があったからです。



レニャーカ・ロータリークラブ(チリ)の会員であるロマンさんは、口唇口蓋裂やほかの先天性欠損症がある子どもを支援するプログラムで全国コーディネーターを担っています。この女性は、

医療チームは250名の患者に手術を実施。患者の状態とニーズに基づいて決定を行っています。



支援を受けた子どもの一人でした。

『「これが私のロータリアンスマイル」、と彼女は言ったんです』

そう振り返る、ロマンさんの声は震えていました。

口唇口蓋裂には先天性要因がありますが、はっきりとした原因は分かっていません。

このプロジェクトは 1993 年、サンフランシスコのロータリアンが、チリで再建手術を行う医療団を派遣したことから始まりました。これこそ現在、26 カ国にチームを派遣するまでに発展したプログラム、ロータープラスト (Rotaplast) の始まりです。

2004 年からチリのロータリアンがプログラムを主導するようになって以来、数年間で同国の多くの医師が参加するようになり、癌患者の乳房再建を行えるほどプログラムは拡大しました。

「スペイン語を話す人と英語を話す人が一緒に活動して結果を出していることがロータリーの素晴らしさ」と、米国オハイオ州の整形外科医、ジェームズ・リーマン (フェアローン・ロータリークラブ会員) は話します。



「これが私のロータリアンスマイル」、と彼女は言ったんです

リカルド・ロマン

レニャーカ・ロータリークラブ (チリ)

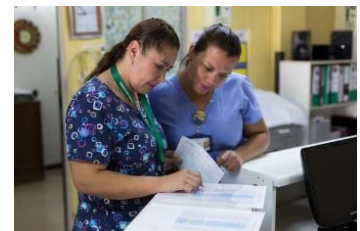
チームには、形成外科医、麻酔科医、看護婦、スピーチセラピストが加わったほか、ローターアクターやロータリアンも運営や移動の手伝いをしました。

今年 2 月、リーマンさんは、米国の形成外科医、麻酔科医、看護婦のチームと共に、チリ北部の国境から約 130km 南の港町イクイケを訪れました。チームの食費・宿泊施設の支払い、国内交通費は、近くの鮎物産業からの資金援助や地元会員が賄いました。飛行機代は医師たちが自己負担したほか、オハイオ州の非営利団体がスタッフ渡航費を負担しました。

チリでは年に約 600 人の口唇口蓋裂の子どもが生まれています。政府が 8 つの治療センターを設立しても、その順番待ちリストは長く、何年も待たなくてはなりません。

そのため、チームが活動する病院では、土曜の朝早くから 250 人を超える患者の行列ができました。チリ全国から患者が集り、中には 2000km 以上も旅してきた家族もいました。

手術室は 4 つあり、それぞれ口唇口蓋裂、耳の再建、乳房再建、その他の用途に使用します。チームは多忙です。患者のニーズと複雑さに基づいて決定が行われ、今回の滞在中に患者 82 名に手術をしました。多くの患者は完全な再建に複数回の手術を要し、中には完了まで数年間、毎年手術を受けなければならない人もいます。



2 月のセッションでは、82 名に手術を実施。

最後の手術が終わっても、患者とロータリーとの関係は続きます。

冒頭で元患者と再会したロマンさんは、その後、その女性をロータリー行事に招待しました。300 人の会員を前に、彼女は自分の人生を変えた手術について講演。彼女の輝くロータリアンスマイルに、多くが涙を流しました。